

## 「模擬国連」チームが初等部 特別クラブ活動（英語）グループ 訪問

●日時	平成29年9月27日（水）15:30 - 16:20
●場所	昭和女子大学附属 昭和小学校
●本校参加者	中学3年生 2名 高校2年生 1名

昭和女子大学附属初等部の英語教員ジョージ・クマザワ先生から、中高部の「私の研究・模擬国連」チームと初等部「英語」特別クラブ活動の生徒19名とで交流をしたいという申し出をいただきました。

というのも、この初等部の生徒たちが「国連大学政策研究センター」の外国人研究員の方々と英語による「質疑応答セッション」を9月29日（金）に実施予定だということです。「小学生がそんなことを！」と感銘を受けた「模擬国連」チームは早速、初等部を訪ねることに。



まず、中高生から英語と日本語で自己紹介。

「自分のまわりには国連のことに興味を持ってくれる人は少ないのですが、今日は小学生がこんなに沢山、世界の問題について関心を持っている場に招いていただいて、感謝しています」と中学生がお礼を述べました。

次に中高部の模擬国連活動について、スライドを使って説明。

そして、いよいよ小学生が「海外出身の国連大学スタッフに英語で質問する」お手伝いをする番です。高校生は1年間の米国留学から帰ってきたばかりの生徒で、得意の英語で小学生の質問に丁寧に対応。中学生にとっても学んできた英語で誰かの役に立てることは嬉しいことでした。

かくして、「模擬国連」チームと初等部の初めての交流会は、あっという間に時間が経過。中学生は「中学1年から難民について研究したことや、これまでがんばってやって来たことが今日は報われたような気持ちです」と一言。「また交流しましょう！」と初等部の先生方に言っていただき、中高生も満足気でした。

次の「交流セッション」は、「中高部に小学生を招いて、一緒にワークショップをするのはどう？」と、「模擬国連」チームの生徒たちも楽しみにしています。

そして「私たちも国連大学政策研究所を訪ねたい！」と中高生。これで「英語で国際問題について質疑応答をする」という次なる目標もできました。「さあ、小学生に続け！」と。



初等部の英語の先生方3人と。（うち2人は初等部の卒業生。思い出話に花が咲く）

国連大学政策研究センターを訪ねて (9/29)



英語のレクチャーを聞いて、質疑応答をした後の満足気な小学生たち。  
「お手伝ができて光栄です。次は私たちの番です！」と中高部の生徒たち。

昭和女子大学附属昭和高等学校